

# 令和2年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	所管部局	経済部	作成責任者	経済部食産業振興監 谷岡 俊則	施策コード	05 - 02
総合評価	効果的な取組を検討して引き続き推進	照会先	食関連産業室販路拡大係 (内26-253)	関係課	食関連産業室	政策体系コード	2(2)B

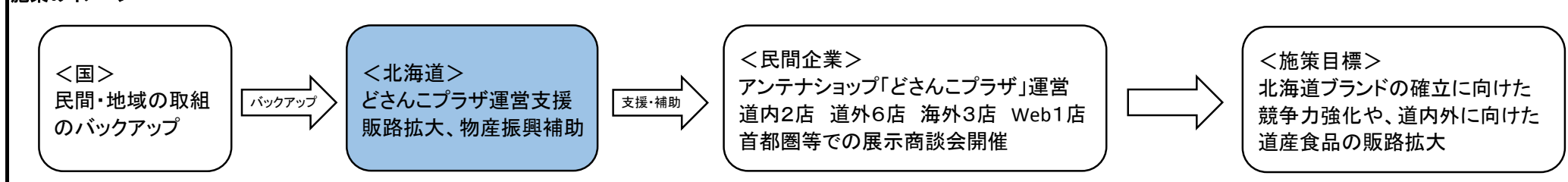
## Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定

現状と課題	施策目標	施策の予算額(千円)	
<p>・本道の食品工業は、平成29年の製造品出荷額が23,985億円(全国シェア6.2%)で全国1位であり、製造業全体の39.1%を占め、地域の経済や雇用を支える重要な産業として発展しているが、素材提供型の色合いが強く、付加価値額は6,774億円で全国5位、付加価値率は28.2%で全国の33.6%と比較して5.4ポイント低い。国内の食市場は、人口減少や高齢化の進行などにより縮小傾向にあるとともに、食品の安全性・環境への関心の高まりや激しい市場競争、地域間競争、TPP協定交渉の合意などにより、その取り巻く環境は大きく変化。</p> <p>・マーケットニーズ等に対応した製品開発や既存製品の磨き上げなどにより付加価値をより高めていくとともに、国内はもとより、今後、経済発展や人口増加などにより市場拡大が見込まれるアジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要。</p>	<p>・民間と協働した付加価値の高い商品の発掘・磨き上げなど、北海道ブランドの確立に向けた競争力強化や、道内外に向けた道産食品の販路拡大を行う。</p>	H30	59,023
		R1	68,192
		R2	210,292

項目	政策体系	国の役割・取組等	道の役割・取組等	市町村の役割・取組等	民間等の役割・取組等
	2(2)B	・民間や地域の取組のバックアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築</li> <li>・アンテナショップである「北海道どさんこプラザ」の運営支援</li> <li>・道内企業の販路拡大、物産振興事業に対する補助</li> </ul>		・首都圏における道産品の展示、販売斡旋、マーケティング支援等を行う「北海道どさんこプラザ」の運営

### 施策のイメージ



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 — 02
-----	-----------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

## 今年度の取組

## 1-2 取組の結果

政策体系及び関連計画等	今年度の取組	実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響等	道民ニーズを踏まえた対応
2(2)B  【創生】 A3121 A3122 【強靱化】 B4221 【公約】 C0084 C0113	<p>◎包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップにより販路拡大事業を実施する。</p> <p>◎首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援する。</p> <p>◎道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助する。</p> <p>◎首都圏において地域の食と観光を国内外の方々へPR</p>	<p>・首都圏における道産品の展示販売や斡旋・企業のマーケティング支援などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営を支援した。</p> <p>・道産品の販路拡大に係る各施策を効果的・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助金の交付決定を行った。</p> <p>・「楽天市場」内に開設している「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、現在どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図ることで、道産品の更なる販路拡大を推進した。令和元年度の売上高は21,819千円となった。</p> <p>≪新型コロナウイルス感染症の影響等≫</p> <p>・どさんこプラザ有楽町店の売上額について、感染拡大による客減少の影響を受けて1,008百万円となり、前年度比マイナス1.7%と前年より減少した。</p> <p>・例年6月に開催している北海道産品取引商談会(札幌会場)が中止となった。</p> <p>・7月に実施予定であった首都圏での物産展(道内の食・観光・文化PR)事業が中止となった。</p>	<p>・商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立てている。</p>

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

連携種別 (政策体系)	連携内容	連携先		取組の実績と成果、新型コロナウイルス感染症の影響
		施策コード	関係部・関係課	
施策・部局 2(2)B	保健福祉部や農政部、水産林務部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	0410	保健福祉部健康安全局食品衛生課	年2回開催予定の食の輸出拡大戦略推進本部員会議において関係部局の取組内容について情報共有を行うとともに、効果的な道内事業者の輸出拡大に向けた事業間連携について調整を行う。
		0704	水産林務部水産局水産経営課	
		0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
		0501 0503	経済部食関連産業室	
地域・民間	包括連携協定を結んでいる企業等との連携により販路拡大事業を実施 ・展示会への出展や商談会・セミナーの開催(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店を、コープさっぽろ倶知安店内に開設 ・「楽天市場」内に「北海道どさんこプラザ楽天市場店」を開設 ・海外への販路拡大支援(伊藤忠)		サッポロビール、コープさっぽろ、伊藤忠、楽天、北洋銀行、北海道銀行	・展示会への出展や商談会等の開催を予定(サッポロビール、北洋銀行、北海道銀行) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店をコープさっぽろ倶知安店内に開設(平成28年5月) ・「北海道どさんこプラザ札幌店」のサテライト店をコープさっぽろ湯川店内に開設(令和2年7月) ・「楽天市場」内の「北海道どさんこプラザ楽天市場店」において、どさんこプラザが設置されていない地域に対しても道産品のPRを図り、道産品の更なる販路拡大を推進 ・海外への販路拡大支援のため、タイ国内の物流において連携(伊藤忠) ≪新型コロナウイルス感染症の影響≫ 令和2年9月 インフォメーションバザールin Tokyo(主催北洋銀行) 中止 令和2年10月 繁盛店の扉(主催サッポロビール) 中止

# 令和 年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

## Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

## Do & Check 施策評価

### 3 成果指標の設定

(H:平成、R:令和、大文字は年度、小文字は暦年)

### 3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		評価年度	H29	H30	R1	達成度合の分析ほか
		基準年度	H26	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	B	B	
商談会等における国内成約件数		基準年度	H26	年度	R2	最終年度	R7	達成度合	A	B	B	【内的要因】 目標未達も、過去の開催実績や積極的な周知等により出展企業数、参加パイヤー数が安定しており、成約件数は増加しているため、今後も引き続き目標達成に向け取り組む。  【外的要因】 特になし
		基準値	3,422	目標値	3,857	最終目標値	4,300	年度	R1	R2	進捗率	
【指標の説明】 国内で道や団体等が主催する商談会の開催により成約となった取引件数 【アウトカム指標】 総合計画における施策の方向性「本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造」の観点から指標として設定	根拠計画	政策体系		増減方向		達成率の算式		目標値	3,781	3,857	4,300	
			2(2)B	増加		$\frac{((実績値-基準値)}{(目標値-基準値)) \times 100}$	実績値	3,545		3,545	達成率	

### ● 本施策に成果指標を設定できない理由

### ● 達成度合について

達成度合	A	B	C	D	-
直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和2年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	—	02
-----	-----------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費(千円)	令和2年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
						本庁	出先機関	人工計			
0123	2(2)B	民間企業等との提携・タイアップ事業に関する事	包括連携協定を結んでいる企業等との連携・タイアップによる販路拡大事業の実施	食関連産業室		0	0	0.3	0.0	0.3	2,376
0124	2(2)B	道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)	首都圏において道産品の展示や斡旋販売、企業のマーケティング支援及び観光情報の提供などを行う「北海道どさんこプラザ」の運営に関する事務	食関連産業室		46,120	6,845	1.3	0.0	1.3	56,416
0125	2(2)B	貿易物産振興事業費補助金((一社)北海道貿易物産振興会)	道産品の販路拡大に係る各施策を効果・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助	食関連産業室		15,027	15,027	0.9	0.0	0.9	22,155
0126	2(2)B	北海道どさんこプラザに関する事務	テスト販売、マーケティングサポート催事の募集及びマーケティングアドバイザーの派遣に関する事務	食関連産業室		0	0	0.9	0.0	0.9	7,128
0127	2(2)B	情報提供に関する事務	道産品展示コーナーを活用した道産品の募集、展示に関する事務。中小企業者やバイヤーへの情報提供。	食関連産業室		0	0	0.1	0.0	0.1	792
0128	2(2)B	北海道貿易物産振興会に関する事務	総会等への出席及び相談指導事務(北海道貿易物産振興会)	食関連産業室		0	0	0.2	0.0	0.2	1,584
0129	2(2)B	在道都府県協議会に関する事務(総務管理諸費)	総会の出席、情報交換及び負担金交付事務	食関連産業室		80	80	0.1	0.0	0.1	872
0130	2(2)B	北海道物産展の後援に関する事務	百貨店やスーパーが開催する北海道物産展の後援承認	食関連産業室		0	0	0.3	0.0	0.3	2,376
0131	2(2)B	道産品販売促進キャンペーンに関する事務	キャンペーンロゴの使用許可、のぼりの貸与に関する事務	食関連産業室		0	0	0.1	0.0	0.1	792
0132	2(2)B	国際大会等を契機とした食と観光の魅力発信事業(創生交付金)	国際大会等の開催を契機に国内外の需要獲得を目的として、首都圏において道内各地域の食と観光の魅力をPRし、道産品のブランド力向上を図る。	食関連産業室		32,645	17,955	0.2	0.0	0.2	34,229
0133	2(2)B	道産品消費回復緊急対策事業費	道産品を取り扱う通販サイトを活用し、割引価格で提供することにより、道産品の消費回復・ブランド力の維持及び向上を図る。	食関連産業室		116,420	116,420	0.7	0.0	0.7	121,964
計						0	210,292	156,327	5.1	0.0	5.1

令和2年度 基本評価調査

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部署等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A	B	C	D	-		
	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可		
2(2)B		1				A・B指標のみ	<商談会等における国内成約件数【B】> ・過去の開催実績や積極的な周知等により出展企業数、参加バイヤー数が安定しており、これに伴い成約件数も増加している。
						-	
						-	
計	0	1	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○→対応している) (△→コロナの影響)	理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	△	・道産品の販路拡大に関して、効果的な取組を推進していることが認められるが、令和2年6月に開催予定であった北海道産品取引商談会(札幌会場)が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
基準2~4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由(新型コロナウイルス感染症の影響で取組がない場合は理由を記載)
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか		
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・商談会の開催時にアンケートを実施するなど、施策の利用者から意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携や地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	・道産食品の海外販路の拡大に関し、関係部と連携した取組が行われている。 ・包括連携協定企業との連携により道産食品の販路拡大に向けた取組が行われているが、新型コロナウイルス感染症の影響により北洋銀行(9月)・サッポロビール(10月)主催の商談会が中止となった。
判定			C
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準1が「○」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ a</li> <li>・基準1が「○か△」ではない、又は基準1は「○か△」だが基準2~4に1つも「○」がない→ b</li> <li>・基準1が「△」で、かつ基準2~4のうち1つ以上に「○」がある→ c</li> </ul>			



令和2年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05	—	02
-----	-----------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価 二次政策評価結果(知事による評価)

6 二次政策評価結果(知事による評価)

<意見区分： 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
施策 事務事業	I	0124	道産品販路拡大促進費(北海道物産 観光展示所運営費)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。
		0125	貿易物産振興事業費補助金((一社) 北海道貿易物産振興会)	
		0126	北海道どさんこプラザに関する事務	

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	付加意見
事務事業				



# 令和2年度 基本評価調書

施策名	道産食品の販路拡大	施策コード	05 - 02
-----	-----------	-------	---------

## Action 施策・事務事業評価

### 7 評価結果の反映 (1) 一次政策評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<新たな取組等> ・コロナウイルス感染症の感染防止策を講じながら、生産者の販路拡大支援に向け、商談会等の取組を円滑かつ効果的に推進していく。	改善：道産品販路拡大促進費（北海道物産観光展示所運営費） 改善：貿易物産振興事業費補助金（（一社）北海道貿易物産振興会） 改善：北海道どさんこプラザに関する事務

### (2) 二次政策評価結果への対応(付加意見への対応状況) <意見区分； 施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性>

対応方針 番号	事務事業 整理番号	事務事業名	各部局の対応(令和3年3月末時点)
I	0124	道産品販路拡大促進費（北海道物産観光展示所運営費）	・小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインや、新北海道スタイルに基づいた感染防止策を講じながら、生産者の販路拡大支援に向け、関連施策の取組を円滑かつ効果的に推進していく。
	0125	貿易物産振興事業費補助金（（一社）北海道貿易物産振興会）	
	0126	北海道どさんこプラザに関する事務	

### (3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		3					3

次年度新規事業 (予定)
0

事務事業 整理番号	事務事業名	一次政策評価における方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
0124	道産品販路拡大促進費（北海道物産観光展示所運営費）	改善	改善
0125	貿易物産振興事業費補助金（（一社）北海道貿易物産振興会）	改善	改善
0126	北海道どさんこプラザに関する事務	改善	改善